

終のすみか 広がる格差

最期のお金



上

「母の薬がほしい」。同居する50歳代の息子がコープおおさか病院（大阪市鶴見区）に訪ねてきた。病院は診察に来るよう勧めたが、来ない。息子は定職に就いていないようだった。

病院で在宅患者の支援などを担当する今江清満さん（64）が地域の福祉機関と連絡をとって自宅を訪ね、入院にこぎつけた。

この病院は今年、低所得者の医療費を病院が肩代わりする制度を導入。これまで申請した18人のうち、10人が60歳以上だった。「必要な医療や介護を受けられず、劣悪な住まいにとま



サービス付き高齢者向け住宅「ゆいま〜る伊川谷」のおしゃべりを楽しむ催し。部屋は30〜66平方メートル。入居時に1千万〜3428万円、毎月5万5千円の利用料もかかる＝神戸市西区、諫山卓弥撮影

手頃な価格の住居 増えず

A3205

■主な高齢者向けの施設・住まいの特徴と費用

	公共型	民間型	民間型
特徴	特別養護老人ホーム 介護の高で先住者が多い	サービス付き高齢者向け住宅 サービスは多岐にわたる	有料老人ホーム 比較的入居費用が高い
入居費用	不要	利用料数カ月の敷金	介護が必要なしで自立できる人＝0～3000万円 自立～1000万円以上＝1億円以上
月ごとの費用	5万～15万（所得で変わる）	10万～25万円	介護が必要なしで自立できる人＝15万～30万 自立～12万～25万円

（費用は目安で、実際は各施設で異なる）

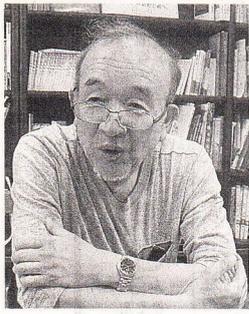
るお年寄りは確実に多くなっている」と今江さん。クラシックが流れるホテルのようなロビー。神戸港を望むラウンジでは、お年寄りがお茶を楽しむ。最も広い部屋は2LDKで125平方メートル。約130人の職員が入居者のために働いている。神戸市灘区のコンプオートビルズ六甲は、セコムグループが運営する介護付き有料老人ホームだ。入居するには4千万〜1億8千万円の一時金を払った上で、一人月17万円の利用料が必要。敷地内には提携する病院もある。111室中、空きは3室。総支配人は「老人ホームの概念を変えたい」と意欲を語る。高級老人ホームには神戸製鋼所や京王電鉄などの大企業も参入する。元気なお年寄り向けの高額な有料老人ホームと、特別養護老人ホームなど介護度の高い人向けの低負担の施設

設。これまで高齢者の住まいが阿極端に振れてきたのは、料金を高く設定するか、介護保険から収入を得るかしないかビジネスとして成り立ちにくいからだ。その隙間を埋めようという動きも生まれた。国土交通省が2011年から推進するサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）だ。フジ住宅（大阪府岸和田市）は関西で73棟2309戸のサ高住を登録する。木造2〜3階建て、一つの部屋が約18平方メートルが標準で、介護が必要な人向けに24時間スタッフが常駐する。入居時にかかる費用は10万円ほどの敷金で、食費込みの利用料（介護費用は除く）が月11万円前後。「年金と、家族の支援が少しあれば入れる水準」と松本和也シニア事業推進室

長。開設後1年以上たつ施設の平均入居率は9割を超える。サ高住には政府が建設費を補助。登録件数は13万戸を超えた。政府は10年後に、サ高住を60万戸に拡大する目標だ。ただ、現在のサ高住の7割以上は、最低限の基準である18平方メートルにすぎない。「一般的な所得の元なお年寄りが満足できる住居が増えない」と高齢者住宅情報センターの米沢なな子さん。このままでは、資産の差以上に「終のすみか」の格差が広がる社会になりかねない。（木村和規）

工夫しだいで納得できる

鳥取市に終末医療のための診療所を作り、多くの死を見送ってきた医師の徳永進さん（65）に「最期のお金」への考え方を聞いた。「最期のお金について考えるのは不謹慎というのが一般的ですが、



鳥取市に終末医療のための診療所を作り、多くの死を見送ってきた医師の徳永進さん（65）に「最期のお金」への考え方を聞いた。「最期のお金について考えるのは不謹慎というのが一般的ですが、

鳥取で終末医療・徳永進さん

も長い方がいいと言葉が重くのしかかる。これは否定しにくい。でも、この辺でいいかと死を受け止めれば、びっくりするようなお金はかからない。「ホスピスではいくらかかるのですか。」「緩和ケア病棟に入院すると健康保険からの支払いを合わせて月120万円の医療費がかかる。在宅だと約60万円が一般的だ」「私の父は点滴も抗がん剤も使わず家で1年半ほど過ごした。スパイで2000円のスープを買い、3日に1本。介護は嫁と僕で、月1万円だった。無理して安くする必要はないけど、これでも人は死ねるんだ」と。お金をかければいわけではない、と。「いまは、巨額の金を投じないと、人が人として死ねないと思ひ込みすぎな気がする。高級な施設で、収容されているような顔の人もいる。自分で病气も死も受けて立つ姿勢が大事だ」。国や地方の財政の問題もあります。「これだけの金しかないとなつたとき、これしかできないとなつたとき、工夫すればこういうこともできるとなるか。経済が落ちたとき、人の心やコミュニティが動くかもしれない。その方が、かえって納得できることもある」